



6月26日、鮎貝小学校の3年生33人が、学校近くのりんご園で摘果作業を体験しました。手が届かない高いところは脚立を使ったりコンテナを積んで踏み台にしたりして実を摘んでいきました。作業を終えた児童たちは「思っていたよりもむずかしかった」と農家のたいへんさを感じながら、「毎日畑まで見に来たい」とりんごが大きくなるのが楽しみなようでした。収穫までには葉摘み作業も行う予定です。

秋の収穫が楽しみです
りんごの摘果作業をしました



いきいき深山郷「のどか村まつり」が、6月23日に開催されました。会場では無料で山菜汁がふるまわれ、訪れたひとたちは手打ちそばやかいもちなど、のどか村の味を味わいました。青竹の流しそうめんには子どもたちが集まり、流れてきたそうめんを青竹の御猪口に入れておいしそうにすすっていました。また、恒例のさくらんぼ狩りも行われ、参加者は、畑でもぎたての佐藤錦を食べてにっこりでした。

おいしいものがいっぱいでした
いきいき深山郷のどか村まつり



化粧回しを着けた横綱、露払い、太刀持ち、呼出、行司。



呼出に、力士の呼び名である『四股名』が呼ばれて取り組みが始まります。四股名は、それぞれに家族と相談して決めました。



1年生は初めての相撲大会。小さな力士に声援が送られます。

蚕桑小学校

相撲大会



各学年の横綱には、勝者の証として『梵天』が贈られます。梵天はPTA環境整備部のみなさんが作ってくれました。



土俵際の攻防に、観客のみなさんも応援に力が入ります。



はっけよい、のこった！
行司は取り組みの進行役です。